米づくり情報(NO.10)

令和3年8月17日

伊万里•西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況(アメダス観測地:伊万里)

	半旬	平均	気温	最高	気温	最低	気温	降2	k量	日照時間		
月		平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	
		$^{\circ}$	$^{\circ}$	$^{\circ}$	$^{\circ}$	$^{\circ}$	$^{\circ}$	mm	mm	時間	時間	
	1	27.8	28.5	32.5	33.6	24.2	25.1	34.7	48.5	34.9	39.6	
8	2	27.8	27.3	32.5	31.6	24.2	23.0	38.7	94.5	33.4	26.3	
月月	3	27.5	23.8	32.2	26.6	24.1	22.1	44.0	679.5	30.8	3.5	
/ / /	4	27.1	-	31.7	-	23.7	1	46.2	ı	28.9	-	
	5	26.6	26.6 - 31.2		1	23.1	1	46.9	1	28.0	-	
	6	26.0	-	30.6	-	22.5	-	55.9	-	32.6	-	

【8月1半旬~3半旬の気象概況】

- 1) 平均気温は、1半旬は平年より 0.7℃高かったが、2~3半旬では平年より 0.5~3.8℃低く推移している。
- 2)日照時間は、1~2半旬では平年の96%であったが、3半旬では平年の11%と極めて少なかった。
- 3) 降水量は、平年の701%となっている。特に8月11日から14日にかけて、約680㎜の豪雨に見舞われた。

2 生育状況(8月17日)

項目 品種(設置場所)	年次	草 丈 cm	茎数 本/㎡	主程出葉数L	葉色 SPAD	概要				
夢しずく	本年値		出穂期	8月6日						
6/2移植	平年値		出穂期	8月5日		・平年より約1日遅い出穂				
東山代町脇野	平年比		+	1 🛭						
ヒノヒカリ	本年値	86.8	454	13.8	35.4	・草丈は、平年並み				
6/20 移植	平年値	85.8	413	14.0	33.9	・茎数は、平年よりやや多い ・主稈出葉数は、平年並み				
松浦町桃川	平年比	101	110	-0.2	+1.5	・葉色は平年よりやや濃い				
たんぼの夢	本年値	73.8	419	14.0	38.2	草丈は、平年並み				
6/15移植	平年値	75.6	447	13.3	39.3	・茎数は、平年よりやや少ない・主稈出葉数は、平年よりやや多い				
松浦町桃川	平年比	104	94	+0.7	-1 .1	・葉色は、平年よりやや淡い				

※夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。

[※]幼穂長は、ヒノヒカリ 148mm、たんぼの夢 143mm。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稲(5月上旬移植)

- ・乳熟期~糊熟期を迎えている。
- ・ 収穫 1 週間前までの間断灌水により子実の充実確保に努める。

2) 普通期水稲「夢しずく」

【6月上旬移植】

- ・乳熟期を迎えている。
- カメムシの防除を徹底するとともに、収穫 1 週間前までの間断灌水により子実の充実確保に努める。
- 防除の際は、天気予報を参考に、防除直後に降雨にあわないよう留意する。

【6月中旬移植】

- ・ 出穂期~穂揃い期を迎えている。
- 穂孕み期から穂揃い期にかけては、イネの用水要求度が最も高い時期であるため、水が切れることがないよう湛水管理を徹底する。ただし、大雨が続く場合は、水尻を低く保つ。
- ・この時期は強風による蒸散の影響を最も受けやすいため、台風の接近等が予想された場合には可能 な限り深水とし、強風による葉先の裂傷や籾擦れなどの被害を緩和するよう努める。

3) 普通期水稲「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- まもなく出穂期を迎える。
- ・最も要水量が大きい時期であるため、出穂10日後までは湛水状態を保つ。

≪参考≫出穂期の平年値

品種	移植日	出穂期	幼穂形成期(1 mm~15 mm)					
			穂肥施用時期目安					
夢しずく	5月28日	8月5日	7月10日~18日					
ヒノヒカリ	6月20日	8月27日	8月1日~9日					
たんぼの夢	6月19日	8月30日	8月4日~12日					

4) 共通

〇主な病害虫の防除適期

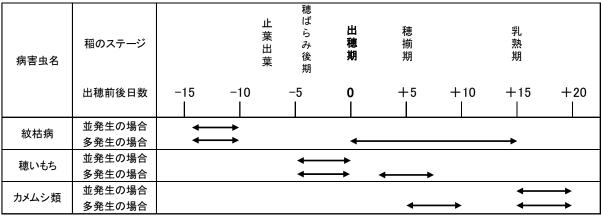


図3 紋枯病、穂いもち、カメムシ類の防除適期

①いもち病

・長期間の曇天・低温により、<u>進展型病斑の急激な増加</u>が 見られている。発生が多い(上位3葉に病斑が確認され る)圃場では、天気予報を見ながら直ちに穂孕み期の防 除を行うとともに、穂揃い期にも防除を実施する。



8/17 に確認されたいもち病の進展型病斑

(調査日:8/17)

②ウンカ類

- トビイロウンカの飛来が確認されており(p4 トラップ捕獲状況の通り)、この飛来波の今後の発生予 測は p5 のとおりである(発生予測図は 8 月 16 日更新第 4 版)。気温が平年値よりも低く推移して いることから、前回の発生予測図よりも防除適期が 1 日遅くなっている。
- ・管内のウンカ類の推移は、7月下旬頃セジロウンカの頭数が増加したが、防除によって頭数を少なく抑えられている。また、トビイロウンカについては、8/17の払い落し調査の結果、東山代で長翅型成虫1頭/20株、松浦で長翅型成虫1頭/20株が確認されている。このことから、<u>圃場によっては、7/9飛来波のパターン図(8月16日更新第4版)から更に1~2日ほど遅れた発生状況となっている可能性がある。引き続き、圃場の発生状況に注意しながら防除を実施する。</u>

【普及センター、ウンカ類調査結果(20 株はらい落とし)】

品種	地域	移植日	トビイロ	コウンカ	セジロ	ウンカ	ヒメトビウンカ					
		1613/	19160	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫			
ġ	夢しずく	東山代	6/2 1		0	2	0	1	0			
ヒノヒカリ		松浦	6/20	0	0	2	0	0	2			
たんぼの夢		松浦	6/15	1	0	2	11	0	2			

- ※上記圃場は全てブーンゼクテラ箱粒剤を使用
- ※トビイロウンカの成虫はいずれも長翅型

海外飛来性害虫情報第12号(ウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況)(8月11日更新)

	I	トビイロウンカ						セジロウンカ							コブノメイガ							
		佐賀県 長崎県				佐賀県 長崎県						佐賀県							長崎県 諫早市			
		佐賀市 ネット	佐賀市	嬉野市	練早市	練早市	練早市	佐賀市 ネット	佐賀市	嬉野市	諫早市 ライト	練早市	練早市	佐賀市フェロモン	佐賀市フェロモン	粘着トラッ		粘着トラッ	武雄市 粘着トラッ	諫早市フェロモン	フェロモン	
月	В	トラッフ	トラッフ	1711	トラッフ	トラッフ・A	トラップB	1777 1777	トラップ	トラッフ	トラッフ	トラッフ・A	トラップB	トラッフ、A	トラップB	フ(20W蛍 光灯)			フ(20W蛍 光灯)	トラッフ、A	トラップB	
5月	11日 12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1	1	\	\			
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	\	1		\	\				
	14日 15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1	\			\			
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0		
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0		
	19日 20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0 1							0		
	21日 22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0		
	23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	∖	П					0		
	24日 25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					0		
	26日 27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		\	\	\		0		
	28日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		\	\	\	\	0		
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			\	\	<u>ا</u> ا	0		
6月	31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		<u> </u>				0		
"	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1		
	3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	0		0	0	0	0	0		
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					"	0		
	7日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0						0		
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	3		
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 1	0	0	0	0	0	0	
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					0	0	
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0					0	0	
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	
	22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	23日 24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	0	
	25日 26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	
	28日 29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	
l ′^	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3日	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0					0	0	
	5日 6日	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	7日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0				2	0	3	
	8日	0	0	2	0	0	0	2	3 16	7 143	23 137	1	0	0	0	_	_	_	2	0	0	
	10日 11日	0	0	0	0	0	0	4 0	8	7	65 38	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	
	12日	0	0	3	0	0	0	1	27	24	12	0	0	0	0					0	1	
	13日 14日	0	0	0	0	0	0	0	1	7	4 6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	15日 16日	0	0	0	0	0	0	0	0	1 5	3	0	0	0	0					0	0	
	17日	0	0	0				0	1	1				0	0	0	0	0	1			
	18日 19日	0	0	0				0	32 0	3				0	0							
7.0	20日	0	0	0				0	0	0				0	0	0	0	0	2			
[/]	21日 22日	0	0	0				0	0	0				0	0							
	23日	0 0	0	0				0	0	0				0	0	0	0	0	1			
	25日	0	0	0				0	1	0				0	0							
	26日 27日	0	0	0				0	2	0				0	0	0	0	0	1			
	28日	0	0	0				0	0	0	-			0	0							
	30日	0	0	0				0	18	0				0	0	0	0	0	0			
8月	31日	0	0	0				0	8 18	3				0	0							
	2日	0	0	0				0	4	0				0	0		0	1	4			
	3日	0	0	0				0	0	1				0	0		U U	<u>'</u>	4			
	5日	0	0	0				0	0	0				3	1							
	7日	0	0	0				0	0	3				-	1		0	0	14			
	8日	<u>欠測</u> 0	-	0				欠測 0		0				0	0							
1	9 🗖							0			l				0							

〇トビイロウンカ各世代の発生予測(2021年8月16日作成)

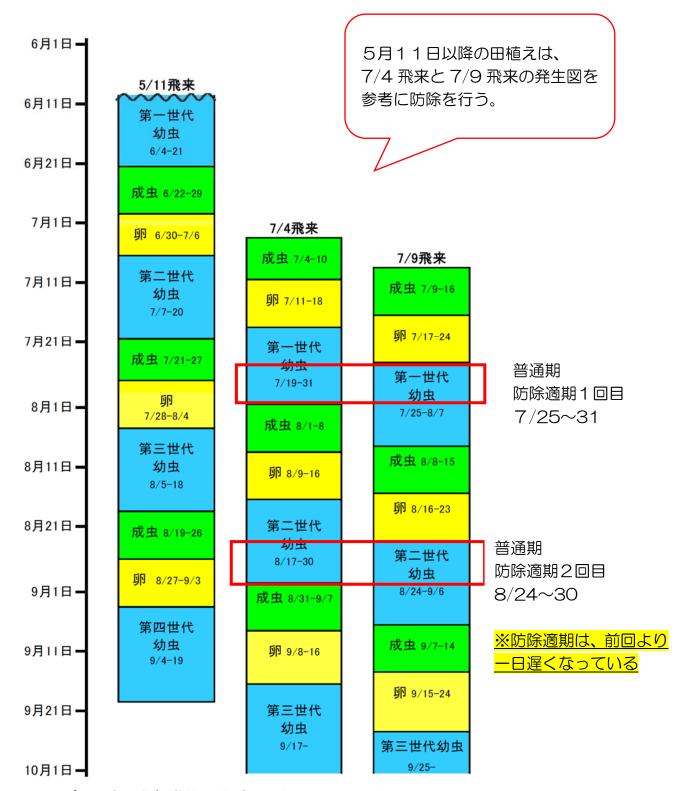


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第4版、2021年8月16日作成)

- 1.5月11日頃、7月3~4日頃(図では7月4日)、7月8~12日頃(図では7月9日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(第3版では7月26日以降は平年値、<u>第4版</u>では8月16日以降は平年値)を基に作成した。その結果、<u>第4版</u>は第3版に比べ各飛来虫のその後の発生時期は、<u>0~1日遅くなった</u>。
- 2. <u>田植え時期、品種、地域およびこれまでの防除の違い等</u>によって、本虫の発生量は異なるので、必ず<u>圃場</u> ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
- 3. 今後の気象経過等に応じて、<u>本図は随時、更新する</u>ので、<u>最新情報</u>は、農業技術防除センターの<u>ホーム</u>ページで確認する。

③コブノメイガの発生予測(2021年8月16日作成)

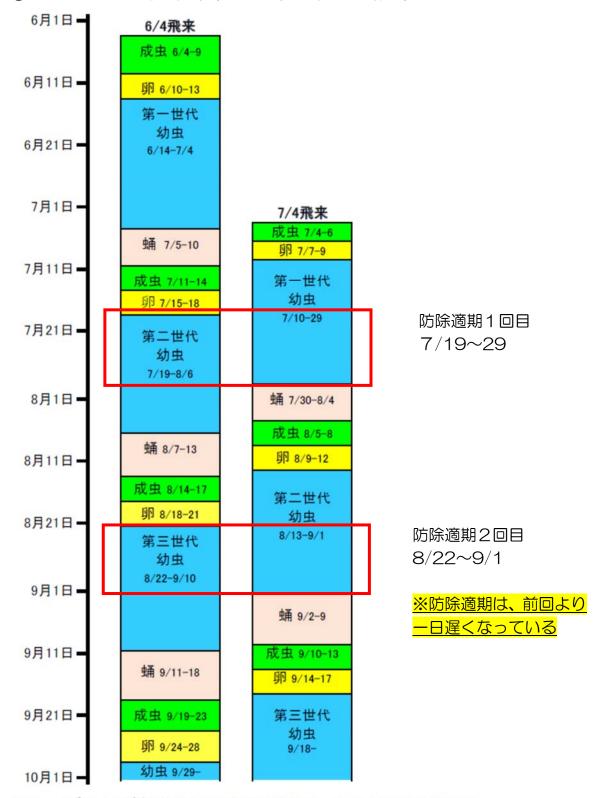
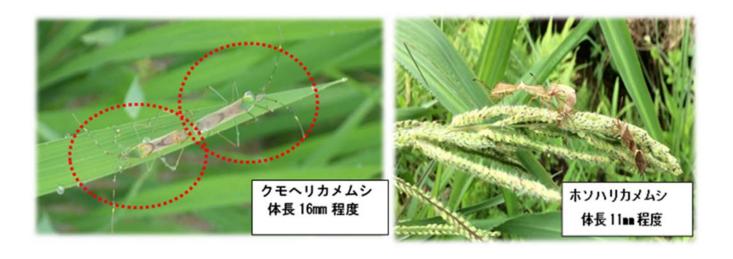


図2 コブノメイガ各世代の発生予測(第3版、2021年8月16日作成)

- 1. 6月3~4日頃(図では6月4日)、7月3~4日頃(図では7月4日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温 データより算出した有効積算温度(第2版では7月26日以降は平年値、<u>第3版</u>では8月16日以降は平年値)を基に 作成した。その結果、<u>第3版</u>は第2版に比べ、各飛来虫のその後の予測発生時期は、<u>0~1日遅くなった。</u>
- 2. <u>田植え時期、品種、地域およびこれまでの防除の違い等</u>によって、本虫の発生量は異なるので、必ず<u>圃場ごとの発生状況を確認</u>したうえで、防除対策を講じる。
- 3. 今後の気象経過等に応じて、<u>本図は随時、更新する</u>ので、<u>最新情報</u>は、農業技術防除センターの<u>ホーム</u>ページで確認する。

④カメムシ類

- ・耕種的防除として、**出穂 10 日前までには必ず畦畔の草刈りを終える**。ノビ工等の大型雑草が圃場内に発生している場合は、速やかに除去しカメムシのの生息場所を無くす。出穂後に行うとカメムシ類が圃場に侵入し、被害を助長する。
- ・薬剤防除としては、乳熟期(出揃い期の約10日後)の防除を徹底して、斑点米の被害防止を図る。 発生の多い圃場では穂揃い期(出穂期の約5日頃)と乳熟期の2回防除を実施する。
 - ★多発生の目安 ⇒ 20回のすくいとり調査でカメムシが5頭以上の場合

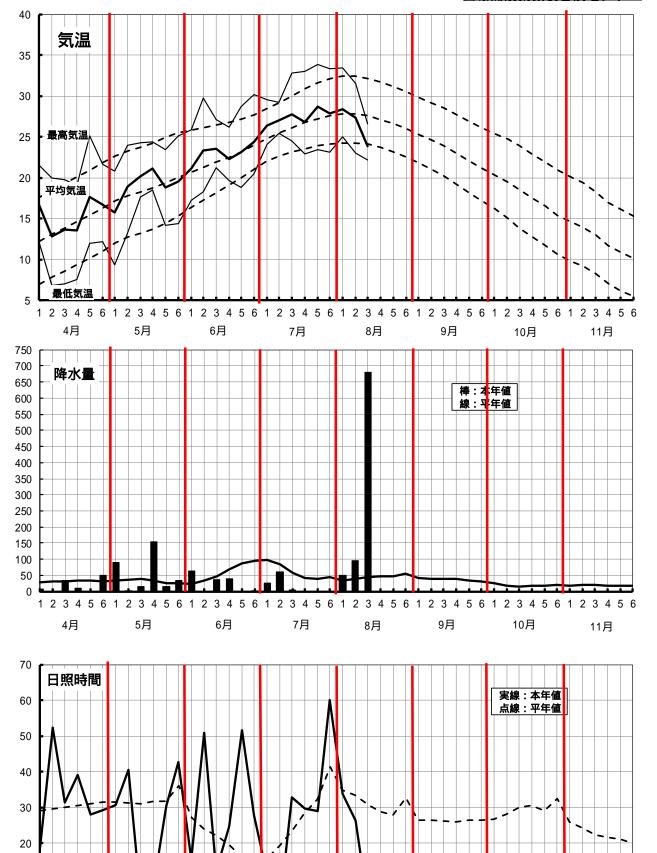


⑤紋枯病・稲こうじ病

・紋枯病および稲こうじ病については、米づくり情報 No.9 を参照。

令和3年産水稲生育期間気象グラフ(アメダス:伊万里)

西松浦農業改良普及センター



8月

9月

10月

11月

1 2 3 4 5 6 1 2 3 4

7月

6月

5月

10

0

4月